

# 第5学年 道徳学習指導案

平成26年10月8日（水）第5校時

1 主題名 友情の絆を深めていこう 2—（3）

資料名 友達だから（出典 彩の国の道徳 道徳教育指導資料集 「夢に向かって」）

2 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

本主題は、高学年の内容項目2—（3）「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。」ことをねらいとしている。

この内容項目は、低学年の内容項目2—（3）「友達と仲よくし、助け合う。」、中学年の内容項目2—（3）「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」を経て、高学年の内容項目につながってきている。そして、中学校の内容項目2—（3）「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。」へと発展していく。

この時期になると、今まで以上に友達関係を意識し、仲のよい友達との絆を深めたり、趣味や嗜好を同じくする閉鎖的な仲間集団を形成したりする傾向が見られるようになる。そのため、孤独感や疎外感を感じたり、友達関係に悩みや不安を抱いたりすることがある。そこで、健全な友達関係を育てていくことがより一層大切となってくる。友達同士の信頼のもとに協力して学びあう活動を通して互いに磨き合い、高め合える真の友情を育てていきたいと考える。

（2）児童の実態について

本学級の児童は、これまで学年、学級で一丸となって様々なことに取り組んできた。運動会での鼓笛活動では、演奏を通して心をつなぐに合わせられるよう指導し、林間学校における班別行動やキャンプファイヤーでは、互いに理解し、信じて、助け合えるような活動を行ってきた。そのような指導から友達の気持ちを大切にし、お互いを理解するなどの行動が日常生活で見られるようになってきた。このような行動を肯定的にとらえ、楽しさや喜びを肌で感じる児童が増えてきている。

児童の実態を把握するため、以下のような意識調査を行った。

1. あなたは、困っている友達がいたとき声をかけたことがありますか。また、それはどんなときでしたか。			
はい 90%		いいえ 10%（複数回答）	
問題が分からないとき	32%	けがをしたとき	16%
係・当番の仕事が多く、困っているとき	10%	遊ぶ人がいない人に声をかけたとき	6%
友達が泣いているとき	6%	友達がやることを分からなかったとき	6%
忘れ物をしたとき	3%	ほかの友達に悪口を言われていたとき	3%
友達の硬筆の作品が破れたとき	3%		
バスケットでパスをもらえなくて困っている友達がいたとき	3%	その他	26%

2. 友達が自分勝手な行動をしていたら、注意したことがありますか。また、それはどんなときでしたか。			
はい 81%		いいえ 19% (複数回答)	
おしゃべりをしているとき	19%	遊んでいるときにルールを守らなかったとき	16%
勝手にルールを決めようとしたとき	13%	ろうかを走っているとき	6%
授業中に手遊びをしていたとき	6%	言われていないことをやっていたとき	6%
帰るときに近道をしようとしたとき	6%	その他	32%
3. 友達がいてよかったと思うときはありますか。また、それはどんなときでしたか。(複数回答)			
はい 100%		いいえ 0%	
遊んでいるとき	39%	勉強を教えてもらったとき	16%
話しているとき	6%	声をかけてもらったとき	6%
手がをして、助けてもらったとき	3%	いつも	3%
		その他	29%
4. 友達に助けてもらったとき、どんな気持ちでしたか。(複数回答)			
うれしい	55%	ありがとう	26%
恩返ししたい	10%	がんばろう	6%
		仲良しの友達がいてよかった	16%
		もっと友達を作りたい	3%
5. 友達と強い絆でつながるためには、どんなことが大切だと思いますか。(複数回答)			
困っているときは助けてあげたい(助け合う)	26%	相手の気持ちを考える	23%
優しくする	16%	友達を信頼する	10%
けんかをしない	10%	あいさつ	6%
積極的に声をかける	3%	感謝	3%
		人の悪口言わない	3%
		仲良く遊ぶ	3%
		本音を言う	3%

### (3) 資料について

本資料は、学年交流会を開くが、仲よしの友達が家の事情から練習に出られなくなることから、相手の立場に立って、考えることにより、真の友情が芽生える話である。

主人公のさつきたちは、学年交流会で劇をするということになった。ところが仲よしのみゆきが家の事情から練習に出られなくなり、クラスの劇を成功させたい思いの陽子や和美は、そんなみゆきに「無理して出なくていい」と告げる。その考えになかなか賛成できないさつきは、思い切ってみゆきに手伝ってくれるように言うことから本当の友達について気付いていく。

練習に参加できないみゆきに対する不満な気持ちに共感できるようにし、葛藤するさつきの心情に迫り、やがて本当の友達というものに気付いていく結末に目を向けるように話し合っていきたい。友達同士の相互の信頼のもとに、協力して学び合う活動を通して、互いに磨き合い、高め合うような真の友情を育てていきたい。そこで次の点に配慮しながら、指導していきたい。

- ① 陽子や和美がみゆきに対して不満を言っているのを聞いている場面では、仲よしだったみゆきに心配と同時に、不満をもち始めているさつきの気持ちをおさえ、共感させたい。
- ② みゆきのために話し合っている陽子や和美たちの意見を聞いている場面では、劇を成功させたいと思う陽子や和美と同じ気持ちとみゆきとともに劇をやったほうがよいと思う気持ちの心の葛藤を捉えさせたい。
- ③ 「そうだ。後ろで家の絵を支える人が足りないんだ。みゆきさんがやってくれるとちょうど助かるな。」と言った場面では、みんなと一緒にやることを望んでいるみゆきへの気持ちを受け止め、真の友情に気付いたさつきの心情を捉えさせ、本時のねらいに迫りたい。

### 3 研究主題との関わり

「豊かな心を持ち、よりよく生きる児童の育成」

—心を耕す道徳実践を目指して—

○高学年のテーマ

**自己を振り返り、よりよく生きようとする道徳の時間**

(1) 本時の具体的な手立て

**導入** 友達に助けられた経験・友達がいてよかったと思えた経験を思い出させ、そのときの状況について考えさせることにより、話合いの方向付けをする。また、切り抜き絵などを使用し、条件・状況を的確につかませ、把握させる。

**展開** 場面の状況を象徴する言葉カードで示すことにより、そこでの心の動きを具体的に想像することができるように工夫する。また、児童の考えを受け入れるだけにとどまらず、補助発問や、考えを深めるための発問を用意し、多様な考えを引き出したい。そして語り合いながら、劇を成功させたいという気持ちは分かるが賛成できないところを共感させ、反応を類型化し、相互比較をさせながら話し合いを深めていく。そして、最後はさつきの言葉による、「本当の友達だから。」に着目させ、真の友情について考えさせ、更にワークシートに書かせることにより、ねらいとする価値に迫っていく。

**終末** ビリーブの歌を聴きながら、テレビでスライドショーを見ることで、真の友情について考えさせたい。そして、今までの生活を振り返り、自己の価値観を見つめ直させ、よりよく生きようとする態度を育てたい。

全体を通して、児童の自由な発言を大切にし、それらを教師の言葉でつないでいながら、授業を構成していきたい。

(2) 総合単元的な道徳学習

「信頼・友情」の価値の道徳学習の計画として、道徳授業（本時）を中心にすえ、事前指導と事後指導の中で、関連する道徳資料・豊かな体験活動・各教科を展開していくことによって、総合単元的に道徳の時間を充実させ、道徳的実践力の育成を図る。

### 4 他の教育活動等との関連（総合単元的な指導の全体構想）別紙



### 5 ねらい


○お互いに理解し、信頼し合い、向上していくことができる友情関係を築こうとする態度を育てる。

### 6 学習指導過程

☆中心発問

段階	主な学習活動	形態	予想される児童の反応	・教師の働きかけ ◎評価	時間
導入	1 友情について考える。	一斉	・自分の気持ちをわかってくれる友達がいるとうれしいな。 ・本当の友達ってどんな友達なんだろう。	・「しん友」について考えさせて、友情について課題意識を高める。	5分
	2 資料の要点を知る。	一斉		・話合いの時間を確保するため、条件、状況把握を丁寧に行う。 ・児童の感想を大切にして柱立てしていく。 ・主人公ーさつき 相手方ーみゆき、陽子、和美	

<p>展開</p>	<p>とらえる</p>	<p>3 資料「友達だから」の判読を聞く。</p> <p>4 さつきの気持ちについて心に残ったところや話し合いたいところを発表する。</p>	<p>一斉</p> <p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつきの気持ちを考えながら聞く。</li> <li>・陽子や和美の話聞いたときのさつきの気持ち。</li> <li>・みゆきのために話し合っている陽子や和美たちの意見を聞いているときのさつきの気持ち。</li> <li>・「本当の友達だから。」と言っているときのさつきの気持ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く観点を指示し、主人公の立場で考えられるようにする。</li> <li>・話し合いたいところを発表させることにより、児童の受け止め方を知り、その思いを生かす方向で話し合いたいところをおさえる。</li> </ul> <p>◎本時の話題を自分達の課題として受け止めることができたか。(発言・感想)</p>	<p>7分</p>
<p>深める</p>	<p>5 「さつき」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) 陽子や和美の話聞いたときのさつきの気持ちを考える。</p> <div data-bbox="231 918 534 1243" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>「みゆき、しっかりやって。」と不平や不満を言う、ようこや和美の話をしているときのさつきの気持ちを考えてみましょう。</p> </div>  <p>(2) みゆきのために話し合っている陽子や和美達の意見を聞いたときのさつきの気持ちを考える。</p> <div data-bbox="231 1646 534 1926" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>「クラスの劇を成功させることも考えるべきでしょう？」と言われたさつきはどんな気持ちになったでしょう。</p> </div> 	<p>一斉</p> <p>グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習に出ないなんて、一体どうしたのかしら。</li> <li>・みんなだって、それぞれ用事があるのに。</li> <li>・みんな、はりきっているのに協力できないのは、自分勝手だ。</li> <li>・劇を成功させなければならぬ。</li> </ul> <p>(みゆきを入れない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのことを考えると仕方ない。</li> <li>・家のことが大変なら、仕方がない。</li> <li>・劇に出ないことがみゆきさんのためかな(みゆきを入れる)</li> <li>・仲間はずれにするようで、いやだな。</li> <li>・みゆきさんは、どうしたいのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲よしだったみゆきに不満をもち始めたさつきの気持ちに十分共感させる。</li> </ul> <p>◎みゆきに不満を持ち始めたさつきの気持ちに十分共感させる。(観察・発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劇を成功させたい陽子や和美の考えとみゆきの気持ちを考えるさつきの心の葛藤を捉え、じっくり話し合わせる。</li> <li>・一人一人に考えを深めさせるため、グループによる話し合いの時間を確保する。</li> </ul> <p>◎さつきの複雑な思いについて、深く考えることができたか。</p> <p>☆さつきの心の迷いを感じられるような働きかけをする。</p>	<p>25分</p>	

		<p>(3)「本当の友達だから。」と言っているときのさつきの気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「そうだ。みゆきさんがやってくれるとちょうど助かるな。」とさつきはどんな気持ちでいったでしょうか。</p> </div> 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでやらないと意味がない。</li> <li>・みゆきさんの気持ちがわかった</li> <li>・みゆきさんだって、一緒にやりたいんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「そうだ。後ろで家の・・・」に込められた友への思いと勇気から、真の友情について考えを深めていく。</li> <li>◎真の友情について深く考えることができたか。</li> </ul>	
	見つめる	6 「本当の友達」について考え、ワークシートに記入する。	個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っていたときに自分のことのように心配してくれた友達がいって本当によかった。</li> <li>・相手の気持ちを真剣に考えて、これから学校生活を過ごしていきたいな。</li> <li>・林間学校のキャンプファイヤーではみんなの心が一つになってとても楽しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を振り返らせ、これからの実践化に結び付けられるようにする。</li> <li>◎これからの自分の生活において相手の気持ちを考えて前向きに乗り越えることの大切さを理解することができたか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(観察・プリント)</p>	5分
終末	心にとめる	7 「ビリーブ」を聴きながらスライドショーを見る。	一斉		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする価値への印象付けを図り、実践への意欲付けをする。</li> </ul>	3分

## 7 評価

(1) さつきの親友として自分の在り方に気付いていく心情について、深く考えることができたか。

(発言・観察)

(2) 導入や終末における資料提示の工夫は、友達の内り方について考えを高めさせる上で効果的であったか。

(発言・観察)

## 8 板書計画 (別紙)

## 9 事前・事後指導

(1) 事前指導 ・帰りの会での「今日のヒーロー」コーナーで、教師が意欲的に児童の学級のためになる行為や助け合う心を取り上げたり、児童同士が友達のよさを発表したりすることを通して、友情の素晴らしさを感じられるようにする。

(2) 事後指導 ・友達と協力しながら仕事をやり遂げることを通して、学校のためにはたらき工夫して生活することができるようにする。

## 10 資料吟味表 (別紙)